

## ◆ TOPIC ◆ センター試験は基本が大事 センター試験の出来が結果を左右する

夏休みを前にどんな勉強をすべきか心配な人も多いと思います。3年生の場合、予備校に通うなど何か特別なことをしなくては行けないのか？そんな心配をする人もいるでしょう。1,2年生はどうなのでしょう。どの学年の人も、まず情報に躍らされることなく基本に戻り「何が大切なことか？」を考えてみる必要があります。

- ①勉強は、学んでいる内容が「わかった」と思えること、腹に落ちることが最も重要です。（「わからない」という人の多くは、実は簡単な基本事項がわかっていません。）
- ②だから「基本をきちんと勉強すること」が最重要課題です。
- ③センター試験は基本的な問題が大半を占めます。基本の積み重ねでしっかり点数が取れます。（ただし試験範囲が広いので、受験勉強が間に合っておらず、そのために「できない」と思いがちです）
- ④センター試験で点数が取れると、受験はかなりの割合で成功します。

難関大学を目指す場合は「難問」と言われる問題を解く訓練が必要ですが、地方国公立や地元私立大のレベルではまずセンター試験レベルをクリアすることが最優先課題です。

では夏休みどんな勉強をすべきか。1,2年生は学校の宿題を疎かにせずきっちりやりきる。3年生は基本的な問題から取り組むこと。いずれもその際に「ちゃんとわかっているか」「腹に落ちているかどうか」を自問自答しながら学習を進めることです。塾や予備校に通うことは否定しませんが、塾に行けば近道が通れると思ったら大間違いです。つねに「基本がわかったか？」という意識を持ちながら学習を進め、いい夏休みにしてくれることを祈っています。（文責：岡崎）

## ♪3年の窓♪ 少し先の未来をイメージして、今日も一歩進もう！

3年生にとってこの夏休みがいかに大切かは重々承知のことだと思います。何をすればいいかということは、上記◆TOPIC◆にもある通り。「わかっていない」ことを「わかる」ようにする。とてもシンプル！

すでに自分なりの勉強計画を立てた人が多いと思いますが、本気の計画を立てれば立てるほど、時間がなくて焦り、目の前のことに集中できなくなる。意味がないように思えてしまう。それが一番の敵です。しかし不思議なことに、1つ、2つ、3つわかるまでには時間がかかりますが、これが10、11、12個目に差しかかる頃には1つを理解するのにかかる時間は短くなります。自分の目の前の小さな一歩を信じてください。不安で立ち止まっている間に何メートルも先まで歩けますよ。

また、モチベーションの維持とタイムマネジメントも重要です。

まずは4月から志望校で大学生活を送っている自分をイメージしましょう。私は大学の写真を自分の部屋に飾っていました。その場に立つ未来のために今を頑張っている。そんな気持ちで頑張りましょう。全国には、あなたがもうすぐ出逢うべきかけがえのない友人が、同じように机に向かっていますよ。いま頑張らなきゃ、きっと後悔する。やらずに後悔は多治高生には似合いません！自分なりのプチご褒美を決めるのも大事です。

時間の管理がうまくできない人は、慣れ親しんだ「50分集中」+「10分休憩」を意識してみてください。いつもの8時50分からやるのもよし。ダラダラやるより緩急が大事です。時間の管理という点ではもう一つあります。桔梗祭の準備に関わる所が大事なポイントです。勉強もしなくては行けない中で集合します。サッと集まって集中して準備、サッと解散。お互いの時間を大切にする、ハイレベルな集団…皆ならできる！

最後に、せっかくまとまった時間がとれる夏休み。未来のことについて考えてみませんか。ネットで「未来予想図」「5 predictions」などのキーワードで検索するとこれから世界がどうなるのか様々な見地が得られます。未来という科学技術の発展が全面にできがちですが、そういう世界でこそ「技術的にはできるけどあえてしない。」という人間の判断も重要です。そういう点では理系だけでなく文系の皆さんの活躍の場は広いです。自分にできることを考えるのは難しくても、そういう未来の何をもっと知りたいのか考えてみることで、大事な受験勉強になります。THINK FOR YOURSELF!!（文責 桑原華）

## ♪2年の窓♪ この夏休み、どう過ごしますか？

間もなく、皆さんが待ちに待った夏休みです。ほっと安堵で胸を撫で下ろしたいところではないでしょうか。しかし、安心ばかりしてはいけません。この夏休みは、皆さんの進路を大きく決定付ける、非常に大切な時間でもあるからです。そこで、「夏休みの過ごし方」について、以下で2点述べたいと思います。

普段の時間割に従わない夏休みは、一人一人の目的意識・課題意識によって、自らを更に高いステージに導く大きなチャンスの時期です。今まで、ついつい後回しにしてしまった苦手科目の勉強や模試の復習にじっくりと取り組める絶好の機会なのです。しかし、同時に、この夏休みは自主的に学習に取り組まなければ、回復不可能に思われるほど学力を大きく下げってしまう危険な時期でもあります。学習に対する目的意識を持ち、主体的に学習を進めましょう。

また、この夏休みを利用して、気になる大学のオープンキャンパスにも積極的に参加しましょう。そして、オープンキャンパスをきっかけに、自身の進路を真剣に考えていきましょう。9月の「ゼミ学習」の時間に、オープンキャンパス報告会もあります。

この夏休みは、高校3年間の折り返し地点でもあります。夏休み、皆さんはどう過ごしていきますか？

(文責：立田)

## ♪1年の窓♪ 有意義な夏休みを！

### 入学から今までの学習内容をしっかり身につける夏休みにしよう！

夏休みの課題をこなすことはもちろん授業で学んだ教科書、プリント、問題集を徹底的にマスターしよう。授業で説明を聞いた時はその内容がすっと入るのに、いざテストになると点数が取れない。結果が出ないから、次第に勉強から逃れ、苦手になってしまう傾向があります。今ならまだ間に合います。特に1年生は、まず国・数・英3科目にあきらめずに取り組んでください。今取り組むしかないですよ！

2年生からの文理選択に向け、第1回希望調査を実施し、三者懇談で確認をしました。その選択は将来の職業、学びたい学問に結びついていますか？まだ、はっきり進路を決めていない人は、苦手な科目を避けて文理選択をしたかもしれません。このように消去法で考えてしまうと将来の可能性を大きく限定してしまうかもしれません。苦手科目は1年生の今からなら取り組み方次第で克服できます。簡単にあきらめてしまうのではなく、まずは自分がやりたいことや就きたい仕事から文系・理系を考えてみましょう。

夏休みは学習への取組の他、家族と未来の大学生活、職業についてもゆっくり話し合う機会にしてもいいですね。有意義な夏休みになることを期待しています。

(文責：西崎)